



「ふくしまゼロカーボン宣言」事業への参加について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）では、福島県が実施している「ふくしまゼロカーボン宣言」事業に参加することとしましたのでお知らせいたします。

「ふくしまゼロカーボン宣言」事業は、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて県内の各事業所が取り組む項目を宣言し、実行に移していくことを目的とした福島県の事業です。

当行は、これまでも二酸化炭素の見える化や省エネ性能が高い照明設備等への更改、電気自動車・水素自動車の導入等脱炭素化に向けた取り組みを実施してまいりました。今般、当行としても福島県が実施する「ふくしまゼロカーボン宣言」事業の趣旨に賛同、当行の全拠点で本事業へ参加し、2050年までの脱炭素社会の実現に向けた取り組みを拡大してまいります。

記

1. 事業概要

(1) 事業名称	「ふくしまゼロカーボン宣言」事業
(2) 主 催	福島県
(3) 事業目的	2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、省エネ対策の徹底や再エネ導入の拡大など地球温暖化対策の取り組みを進めること。

※事業詳細は、別添資料（福島県作成）を参照願います。

2. 参加拠点

東邦銀行の全営業店、本店、事務センターを含む全89拠点

3. 取り組み宣言項目

(1) 二酸化炭素排出量を「見える化」します。	(6) エコ通勤を実施します。
(2) 省エネ性能が高い照明等を使用します。	(7) エコドライブを実践します。
(3) 再生可能エネルギーを導入します。	(8) 節電・節水に取り組みます。
(4) 機器・設備の台帳を作成し、計画的に更新します。	(9) カーボン・オフセットに取り組みます。
(5) 社用車に電動車（電気自動車、燃料電池車など）を導入します。	(10) 自社の取組を関連会社等に展開します。

(福島県推奨全10項目)



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取り組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以 上

令和5年度

ふくしま ゼロカーボンへの挑戦 Road to 2050



— 事業所版 —

福島県では、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、省エネ対策の徹底や再エネの普及拡大など地球温暖化対策の取組を進めるために、県内事業所の「ふくしまゼロカーボン宣言」、
「ふくしまゼロカーボンへの挑戦表彰制度」への参加をお待ちしています。

みんなで!!

ふくしま ゼロカーボン宣言

実践する地球温暖化対策の取組を
10項目から選択して報告!

- ✧ 申込期間
令和5年6月1日～令和6年3月31日
- ✧ 申込方法
電子申請

電子申請でかんたんチェック!
申請いただいた事業所には、
ポスターをお送りします。

更に
チャレンジ!!

ふくしまゼロカーボン への挑戦表彰制度

県内のモデル的な
地球温暖化対策の取組を表彰!

令和5年度は令和4年度のゼロカーボン宣言事業の取組結果報告書をご提出いただいた事業所の中から優秀な取組を表彰します。
優秀な取組の事業所は、10月の環境イベントで表彰します。

詳しくは裏面を
チェックしてみてね!



問い合わせ先

福島県庁 環境共生課

電話 024-521-8516

FAX 024-521-7927

e-mail zerocarbonsengen_jigyosho@pref.fukushima.lg.jp

ゼロカーボン宣言

みんなで!!

・ 内容

以下の10項目から、事業所で取り組んでいる又はこれから取り組む予定の内容について宣言（セルフチェック）し、電子申請してください。

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| ① 二酸化炭素排出量が見える化する | ⑥ エコ通勤を実施する |
| ② 省エネ性能が高い照明等を使用する | ⑦ エコドライブを実践する |
| ③ 再生可能エネルギーを導入する | ⑧ 節電・節水に取り組む |
| ④ 機器・設備の台帳を作成し、計画的に更新する | ⑨ カーボン・オフセットに取り組む |
| ⑤ 社用車に電動車（電気自動車、燃料電池車など）を導入する | ⑩ 自社の取組を関連会社等に展開する |

・ 申込方法

右記の2次元コードを読み取り、電子申請フォームにアクセスし、申し込みください。

※ 令和5年6月1日～令和6年3月31日まで有効

ふくしま ゼロカーボンへの挑戦



ふくしまゼロカーボンへの挑戦表彰制度

更に
チャレンジ!!

令和5年度は令和4年度のゼロカーボン宣言事業の取組結果報告書をご提出いただいた事業所の中から優秀な取組を表彰します。令和6年度から新規申込を募集します！

・ 内容

各事業所で実践した地球温暖化対策の取組を報告していただき、審査により賞を決定します。

【 審査の観点 】

- ① 活動の広がり
事業所内において、職員の一体的な取組がうかがえるか
- ② 独自性
取組内容がユニークである、または新規性があるか
- ③ 汎用性
取組内容が他の事業所でも取り入れられるか
- ④ 持続性
今後も持続的な効果が期待できるか
- ⑤ 社会貢献
環境に関する社会貢献活動を行っているか

【 取組項目 】

- ① 節電・節水
機器の更新、ライトダウンの実施など
- ② 使用燃料の削減
電気自動車の導入、エコドライブの実践など
- ③ 職場交通マネジメントの取組
エコ通勤の実施など
- ④ ゼロエミッションの取組
再生エネルギーの導入、省エネ性能が高い照明の導入など
- ⑤ 気候変動への適応
クールビズ、ウォームビズ、自社の取組を関連会社等に展開するなど
- ⑥ プラスチックごみ対策、食品ロス削減の推進
マイボトル、マイバッグの推進など
- ⑦ 二酸化炭素排出量の見える化への取組
取組によって削減できた CO₂量
- ⑧ その他独自の取組
植林活動、カーボンオフセットへ取り組むなど

・ 賞一覧

- 最優秀賞、優秀賞（部門毎の表彰） ● 団体部門賞 ● 分野賞 ● 奨励賞

表彰を目指して
頑張ろう!



過去受賞事業所の取組例

フロン不使用冷ケース



（生活協同組合コープあいづ）

屋上の太陽光パネル



（福島テレビ株式会社）

水素燃料自動車導入



（株式会社勿来製作所）

LED 照明へ転換



（山木工業株式会社）

令和5年度版

東邦銀行

事業所

「ゼロカーボン宣言」

今年度、地球温暖化対策のために、わたしたちの事業所は
以下の**項目**に取り組むことを宣言します！

1

二酸化炭素
排出量を
見える化します。



2

省エネ性能が
高い照明等
を使用します。



3

再生可能
エネルギーを
導入します。



4

機器・設備の台帳を
作成し、計画的に
更新します。



5

社用車に電動車（電気
自動車、燃料電池車
など）を導入します。



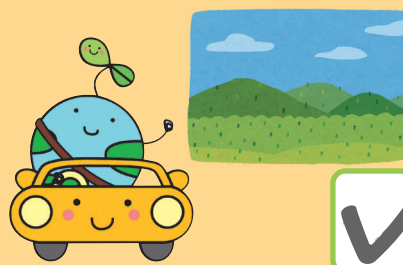
6

エコ通勤を
実施します。



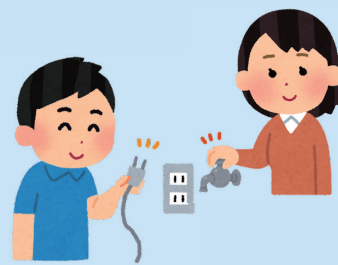
7

エコドライブを
実践します。



8

節電・節水に
取り組みます。



9

カーボン・
オフセットに
取り組みます。

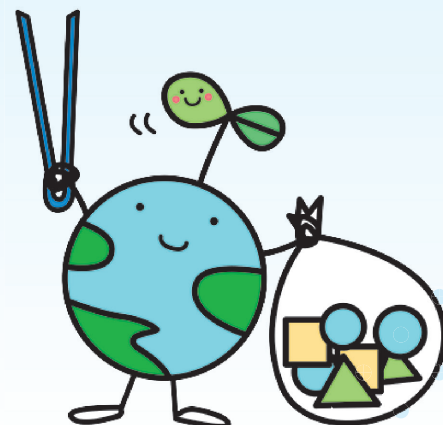


10

自社の取組を
関連会社等に
展開します。



カーボンニュートラルな社会の
実現を目指して頑張ろう！



近年、地球規模での温暖化問題が顕在化し、大規模な気象災害等が頻発するなど、気候変動に対する危機感は世界中に広がっています。

このため、福島県では、2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

日々の暮らしや事業活動の中で、省資源・省エネルギーの徹底など、温室効果ガスの排出削減を目指し、積極的にアクション・実践することが重要です。

かけがえのない地球の未来のため、そして私たちのふるさと「福島県」が美しく豊かであり続けるため、県民一丸となって共に脱炭素社会の実現に取り組んでいきましょう。

福島県知事 内堀 雅雄